

# 韓国生活で経験する「言葉の壁」をサポート 「両国の言語を教える先生になりたい」

インタビュー



ライフィン釜山通訳支援団  
草間 愛里香さん



ライフィン釜山通訳支援団に参加した草間愛里香さんの好きな広安里海水浴場。都心の中の海で、好きな店もあり通っているという(写真は、広安里海水浴場の全景)。

国際観光都市の釜山には、留学生や結婚移民者、労働者など多くの外国人が生活している。釜山広域市と釜山国際交流財団は、留学生と釜山に在住している外国人をサポートするため、さまざまなサービスを提供している。その中の一つが、スマートフォンのアプリケーション「ライフィン釜山」を使用した通訳、翻訳サービスだ。手伝いが必要な外国人がアプリを通じて電話やチャットで申請すれば、該当言語を話すボランティアとつながり、サービスを受けられるというもの。

釜山市は、多くの外国人がこのようサポートを受けることができるよう「ライフィン釜山通訳支援団」を立ち上げた。韓国語に長けた外国人や、外国語に自信のある釜山市民など、総勢170名が支援団に参加している。釜山にある釜慶(プギョン)大学の語学堂で勉強している留学生、

草間愛里香さんもその一人だ。

去年の9月に釜山生活を始めた草間さんは、K-popがきっかけで韓国語を勉強し始めた。埼玉県出身の草間さんは、日本で大学を卒業後、自ら韓国行きを決意したほど韓国語の勉強に対する熱意は高かった。

草間さんは、日本で韓国語を独学で学び実力を積んだ。釜山留学に来る前は、1ヶ月に1回以上のペースでソウルへ行くほど、韓国文化へ高い関心を持っていた。そんな草間さんが、どのようにして釜山へやって来たのか尋ねた。

「全く知らない場所で生活してみたいという気持ちが大きかったです。釜山の人たちは本当に親切です。初めて釜山に訪れたとき、釜山方言をうまく聞

き取れずコミュニケーションをとることが難しかったのですが、私が日本人だと知ると誰でも親切に説明し案内してくれました。だから困ることなく釜山生活に慣れていきました」

草間さんは韓国語の勉強を継続し、韓国人に日本語を、日本人には韓国語を教える仕事をしたいと話す。今回通訳支援団に応募したきっかけも、その夢に一步步近づいたためだった。

「私と一緒に留学に来た友達は、韓国語を全く話せなかったので、寄宿舎探しや口座開設などを一緒に行き手伝ってあげました。韓国語を話せない方々が、釜山で生活していけるように手助けできるかもしれないと思い、通訳支援団に参加しました」

草間さんは、釜山で生活し始めてから7ヶ月が過ぎた。韓国語や食べ物などは、完全に慣れたと話す。

「テジクッパが一番好きです。日本人の口によく合いますね。お店ごとに味に特徴があって、味を比べてみるために色々なテジクッパ屋さんを巡っています」草間さんが好きな場所は、広安里(クアンアルリ)海水浴場だ。釜慶大学からも近く、気分転換をする時や、海が見たくなったらよく訪れているという。海水浴場の近くには、行きつけの寿司屋もあり、とても気に入っている場所だと話す。

今後草間さんは、韓国と日本を結ぶ架け橋として活躍していくだろう。草間さんの釜山留学生活が、さらに意味のある時間になるよう応援したい。

読者投稿 あなたの「釜山話」をお寄せください。

## 釜山に来たらヨットツアーいかがですか



ザ・ベイ101に停泊中のヨット

海、好きですか？釜山っ子の私は海が大好きです。2000年代、日本で留學生活中に見た瀬戸内海や、東京湾の海も好きでした。日本の海と釜山の海はまた違う感じですが。常に見る風景を海で眺めるのは新鮮です。それで、日本から友人が来ると海から釜山を眺められるヨットツアーおすすめしています。

ヨットに乗って釜山を一望できる機会が最近、多くなりました。海雲台冬柏島の入り口のザ・ベイ101からのヨット楽しむことができます。ザ・ベイ101から出発し、広安大橋を過ぎて広安里海水浴場、マリンシティまで行って冬柏島に戻ります。ラグジュアリーなヨットツアーを誰でもできるんです。成人3万ウォン(約3千円)、青少年1万ウォン(約千

円)、未就学児童1万ウォン(約千円)。上履きに履き替えてヨットに乗ったら、職員が救命胴衣の着用方法を詳しく案内してくれます。船に乗ってからは自由時間！船内とデッキ、2階まで自由にご覧いただけます。

他にも水営(スヨン)湾ヨット競技場や龍湖(ヨンホ)湾発のプログラムなど釜山の海を楽しむ多彩なヨットツアーがあります。近いうち、金海(キメ)国際空港を窓口日本と釜山の行き来が再開するでしょう。その時はぜひ釜山でヨットツアーに挑戦してみてください。

ダイナミック釜山購読中の釜山市民  
(釜山広域市南区)